

戸田市議会議員 **無所属** 特別号

みやうち 宮内そうこ

略歴

●昭和56年6月20日生まれ ●戸田南小学校卒業 ●戸田中学校卒業 ●浦和第一女子高校卒業 ●慶應義塾大学文学部 英米文学科卒業(在学中に英国留学) ●翻訳者として特許事務所・翻訳会社に勤務後、独立 ●英検1級、TOEIC 970点 ●令和3年 戸田市議会議員選挙にて3,023票を賜り、第1位で初当選



戸田育ち・2児の母

会派

埼玉県戸田市議会
戸田の会

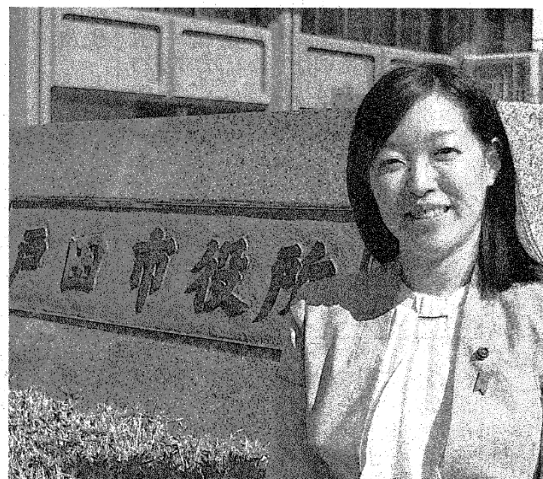
朝日新聞に掲載されました！

私が政治を目指した理由 (普通の人こそ参加すべきと考えます)

地方議会には、特定の政党や特定の組織とのしがらみのない普通の人々の声が必要だと感じています。私自身も 2 人の子育てをする母親として、育児で大変な思いをしている皆さんの声を政治に届け、子どもの貧困対策や子育て支援に奔走してきました。
約30年後には現役世代1人が高齢者1人を支える時代になります。子育てや介護を担っている現役世代への支援は、結果としてすべての世代を支えることにも繋がります。政治は、子育てや介護を担っていたり、社会で生きづらさを抱えている普通の人こそが参加すべきだと感じます。私はこれからも、特定の政党や特定の組織の利益を優先することなく、市民目線を最優先とする、しがらみのない政治活動に取り組んでまいります。

戸田市議の宮内妻子 (42)

2024年3月9日の朝日新聞で、「浦和第一女子高校出身の政治家」として掲載されました。
(詳しくは裏面もご覧ください)



大学卒業後、翻訳者として特許事務所や翻訳会社に勤めていた宮内。「映画の翻訳は狭き門であきらめた」

2000年卒)は1年生の時に映画「タイタニック」を見て、「漠然とだが翻訳や通訳の仕事にあこがれた」。

1年から3年まで一女祭の実行委員を務めた。3年時は学校ではほぼ毎日夜9時近くまで勉強していた覚えがある。

「先生たちも職員室に残っていたので質問しに行けた」と一女の学習環境に感謝する。

先の戸田市議選では初めての立候補ながらトップ当選。子どもの貧困の解消、子育て世代への支援をライフワークの一つに据え、走り続けている。

(佐藤太郎) 敬称略

